第 224 号(2016 年 1 月 1 日号) 幕張ベイタウンニュース編集局 http://www.baytown-news.net/



高見潤さん、優菜さん親子



くなりたい」という優菜さんを見て、お父さんの潤さんは「ほがらかに健やかに穏やかな一年でありたいです」とうれしそうに娘さんを見守っていました。

吉崎君、川村君の男子トリオ



加藤君は「塾 で頑張って中学 受験で合格した い」、吉崎君も「受

験で合格したいから勉強時間を増やす」、そして川村君は「野球を やっているのでシニアで頑張りたい」とそれぞれの目標を教えて くれました。

佐々木さん、常松さん、ドノバンさん



神参しらはの達しんは 美良加た)「学とたは 類人く真木校のく常年い 小組れ左さ最で過松)下 のでまかん後友ごさ6 のでまかん後友ごさ6

生のお手本になりたい」、ドノバンさんは「最後の小学校生活、おもいっきり楽しみたい」と思いを込めて語ってくれました。

美浜打瀬小の4人組



の抱負を語ってくれました。何事にも積極的にチャレンジする気 持ちは大事。そしてこのインタビューに答えたということはまさ にその第一歩となりました。

本好きの子にしよう ~海浜打瀬小の「朝読書」~

昨年の秋頃から我が家の小学 1 年生が、学校の朝の会が始まる前に読書の時間があるから本を持っていくのだと好きな本を選んでランドセルに入れています。最近家で読書をする時間が減っていると感じていた親としてはとても安心して見ていました。

そんな折、海浜打瀬小学校読書ボランティアの方から、学校の朝読書の時間に読み聞かせを するから見に来ませんかとお誘いを受け、その様子を取材してきました。 【**斎田**】

昨年 10月 22日朝の8時過ぎ、この日は5年生の4クラスに対し一人ずつそれぞれ選んだ本を読み聞かせるとのことで、4名のボランティアさんについて5年生のクラスへ向かいました。

小さい子どもに対する読み聞かせは目にしてきましたが、自分で読める年齢の子ども達への読み聞かせは何だか新鮮。高学年とあり、始業前でも児童は落ち着いていて、静かな雰囲気の中ボランティアの方達も慣れた様子で黒板の前に座り、その日選んだ本について語り始めます。この日読まれた本は、グリム童話や幼児から対象とされる



絵本だが高学年でも考えさせらる内容であったり、ノンフィクション作品であったりと様々。どのクラスもしーんとクラスが静まり返り、ぴたりと動きも止まるくらい聞き入り集中している様子がわかります。さすが高学年、という印象と、やはり本の力ってすごいのだなと目の前で見せつけられた感じがしました。

あるクラスでは、児童と共に読み聞かせ を聞いていた担任の先生が、「この話、自分 が子どもの頃母に読んでもらった話だと、



聞いていて記憶がふと蘇りました!」なんて会話も。こうして、子どもの頃の記憶が呼び覚まされたりもするのですね。本にまつわる記憶や印象というのは、常に鮮明に残っているものではなかったとしても、心の奥底や日常では意識しない部分でしっかり息づいているものなのでしょう。最近忙しさを理由に子どもと本を楽しむ時間が少ないのですが、やはりそんな時間を大切にしたいと痛感しました。

貴重な朝の読み聞かせの時間、一人で読めるようになっても、こうして誰かに読んでもらえる幸せ、クラスの友達とお話の世界に入り込める幸せ。こんな一日の始まりはなんて清々しく、心が豊かになるってこういうことだと実感しながら学校を後にしました。

この朝の読み聞かせ、8時20分頃から開始なので、出勤前の時間にお父さんが参加

「ZOZOPARK HONDA」がプレ・オープン

昨年8月若葉地区に計画が発表された施設「ZOZOPARK HONDA FOOTBALL AREA(ゾゾパーク ホンダ フットボール エリア)」が早くも昨年12月25日にプレオープンされました。グラウンドはきれいな芝が敷かれてできあがっているのですが、周辺の植栽などの整備はまだこれからで、本格的なオープンは3月です。

25日は子ども達に直接本田圭佑選手が指導するサッカースクール、そして翌26日にもなでしこジャパンの熊谷選手のサッカークリニックなどのイベントが開催されました。25日の朝9時半ごろに会場前を通ってみたのですが、サッカー少年とその親という人たちがすでに行列を作り、順に入場している最中でした。取材用の車もちらほら。いままでただの更地で草が風になびいていただけの場所が、ファンやマスコミの熱い視線を集めるサッカーの聖地になったようです。

そして、なんと記者はオープン前、出来たてほやほやのクラブハウスでゼネラルマネージャーの鈴木さんにお話しを伺うことができました。うーん、記者としてこんなわくわくする取材はめったにありません。実はそのような機会をいただいたのは、この施設が地元との関わりを大切にしたいという思いがあったからでした。

鈴木さんは「この施設はサッカーだけで

なくテニス、ゴルフの練習もできるようになっています。トレーナーがいることですからシニア向けの運動教室も考えていますし、お年寄りから子どもまで様々な年齢の皆さんが楽しく集う場所にしたいのです」と意外にも地域密着のスポーツ施設であると説明されます。

昨年8月に報道されたときは、本田圭佑 選手の個人練習用と報じられたこのグラウンドでしたが、それは真実ではなく、本来 の目的はもっと大きく地域に開かれている ものでした。もともとサッカーにそんなに 親しみを持っていない記者は、この施設が 出来ると聞いても、縁はなさそうと遠い存 在に思っていたのですが、自分でも何か関 わりが持てるのかしら、と思うようになっ ていました。



25 日の ZOZOPARK。早朝からたくさんの親子連れが続々と集まった。

その他にも幕張総合高校のサッカー部が 週に3回この芝のグラウンドをお借りして 練習することになっていたり、パラリン ピックのブラインドサッカーやフットサル の日本代表の練習拠点になることも決まっ ているそうです。夢に向かって頑張ってい るいろいろな人の応援をすることも本田選 手の強い思いなのでしょう。

男子のサッカースクールは今年2月に開校し、女子対象の「なでしこクラス」は4月からの予定となっていますが、サッカーに限らない、面白そうなスポーツ施設が近くにできたことを歓迎し、積極的にスポーツに親しもうかと思いました。 【小原】



26日開催の「熊谷紗希サッカークリニック」。熊谷選手は、なでしこジャパンの中心選手で現在はフランスの女子リーグのリヨンに所属。熊谷選手と未来のなでしこ/サムライ・ジャパンを夢見る少年少女が、無心にボールを追いました。

幕張に日本サッカー協会のトレーニング施設

すでに新聞報道等で耳にされている方もいるかと思うが、ベイタウンにほど近い県立幕張海浜公園の D・E ブロック(海浜大通りを挟んで海側の地域)に、JFA(日本サッカー協会)トレーニングセンターの設置が検討されている。この件に関し、幕張ベイタウン協議会の呼びかけで、12 月初旬に千葉県県土整備部都市整備局公園緑地課主催(千葉市都市局および JFA 同席)で、「(仮称)JFA ナショナルフットボールセンターに関する説明会」が開催された。

設備は、サッカーコート2~4面、屋内練習場(アリーナ)、フットサルコート1~2面、ビーチサッカーコート、クラブハウス等を検討中で、オリンピックに間に合わせるため、2020年までには運用開始したいとのことだ。運用が始まれば、日本代表のトレーニングキャンプだけでなく、各種指導会や講習会、研修会、サッカークリニックやサッカー教室などが実施される。

参加した住民からは、総論としては地域活性化につながるため 賛成ではあるが、これまで実施してきたマラソン大会や花火大会 といった各種の活動や、公園としての利用が阻害されることに関 しての懸念の声や、行政としての主体性(地域・公園をどうして 行きたいかの意思)に関する疑問の声も聞かれた。JFA からは「作 るありきで考えているわけでない。県・市・住民との合意の上で 作りたい。後世に残るものにしたい」と回答があり、前向きに対 話していく姿勢が確認できた。今後の計画の進展、地域との会話 の模様も、入り次第続報します。【板東】

「ベイタウンニュースからの挑戦状」

こんなタイトルの掲示物が美浜打瀬小4年生の教室廊下に貼り出されていました。取材で同小に行ったときのことです。一瞬ドキッとしました。

挑戦状の内容は、「ベイタウンニュースの最新号は何号でしょう」とか「もちつき大会の目的は何でしょう」とか、この街の活動や歴史についてのものをクイズ形式にしたもので、社会科の授業の一環として先生が作ったもののようです。なるほど「挑戦状」とはいいアイデアです。このくらいのあそび心が必要なんですね。

廊下にはその他に昨年、「勝手に年表制作委員会」がつくったベイタウン 20 年の年表や、「鎌田さんはこの 20 年間でどのようなことをしてきたのだろう」というのもありました。街のことを調べる授業は以前から小学校で続けられていて、3年生くらいだと街にでかけてお店を廻ってインタビューしたりしている姿をよくみかけますが、4年生だと「街の歴史」がテーマになるようです。

歴史のない街ベイタウンの歴史を調べなければいけない子ども たちは大変ですが、「この街の歴史は、今君たちがつくっている」

(写真上)「鎌田さんは…」の掲示。他にも「山根さんは…」「山木さんは…」「松村さんは…」というのもあった。

1月のコア・イベント

1月16日(土) わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

日時:1月16日 第3土曜日 10:30から

場所:ベイタウン・コア講習室 予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももせひきてね!

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** http://waku.makusta.jp/ **

お問合せ先: chibawaku2@freeml.com

1月 24日(土)寺子屋工作ランド

Myはしをつくろう(じぶんだけのおはしを竹でつくります)

日時:1月23日 第4土曜日 9:30~11:30

場所:ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの:小刀(あれば) 古タオル1枚(ひざあて) ごみぶ

くろ、てぶくろ

参加費:50円(保険料)

第 145 回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第 145 回ファツィオリの会

日時:1月24日(日)9:30~11:30

場所:ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、 声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご 希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただ きます。聴きに来て頂くのは、自由です。

最新の情報は http://www.baytown.ne.jp/core/ をご覧ください。

申込受付開始:1月9日 (土)、締切:1月17日 (日) 申込先:kaorutom@kjb.biglobe.ne.jp (冨田) まで

卒業生を待つナノハナ

今、打瀬中の周りではナノハナがたくさん芽を出しています。 これは来年3月の卒業式の頃に丁度満開になって卒業生を送れる ようにと、元打瀬中校長のW先生が育てています。

今は学校も春休みで、部活で学校の周りを走る中学生や、横の第2グラウンドで練習をする野球部の生徒が見ているだけですが、3月には精一杯の黄色で3年生を送れるようにしっかりと準備をしています。

送られる3年生たちも今は受験の真っ最中。今頃は塾通いで花を楽しむ余裕なんてないでしょうね。3月には気持ちよくこのナノハナに送ってもらえるよう今頑張りましょう。君たちならできる。



中学校裏手、第2グラウンドに沿ってきれいに作られたナノハナ花 壇の畝。グラウンドでは野球部が練習中だった。